

山モノの教科書
[ウエア編]

ウエアリングの応用編

5レイヤリングという考え方



ドライレイヤー

撥水性能が汗を逼さける
皮膚をドライに保ち、生地を一枚隔てたところで吸汗拡散が行われるため、汗冷えを回避。

**ファイントラック
フラッドラッシュ
アクティブスキンT**

3タイプあるドライレイヤーシリーズの中でもっとも濡れ戻り防止力が高い素材。保温力が必要な季節のほか、ウォータースポーツにも適する。価格4725円

ベースレイヤー

汗の処理の主力を担う
優れた吸汗拡散性のみならず、保温調湿など、行動時に必要な快適性能を最適にミックス。

商品情報は
44p

ミッドレイヤー

保温性+優れた吸汗拡散性
汗が多く発生するときでも不快感や冷えから身体を守る、フリースを凌駕する新スタンダード。

商品情報は
37p

ミッドシェル

中間層でもアウターでもない
卓越した防風耐水透湿性とベンチレーション機能で、内側からの雨、風、冷気を防ぐ新発想の糊裁。

商品情報は
39p

アウター

基本機能+α
防水透湿性、運動性、経年劣化しにくい素材を開発。ミッドシェルとの相乗効果でより快適。

商品情報は
30p

透気性を向上させる

リンクベントの妙
リンクベントはファイントラック独自のベンチレーションシステム。ミッドレイヤー、ミッドシェル、アウターシエルのベンチレーションの位置を前身頃に統一することで、ダイレクトかつ大量の換気を素早く行えるのだ。



Point

気候変動が激しい日本のメーカー『ファイントラック』の考え方が参考になる。

日本人の、日本人による日本人のための5レイヤリング。そもそも3レイヤリングとは乾燥して雨の少ないアメリカの土地で生まれた思想。そのまま輸入しただけでは価値が生じて当たり前だ。多湿でめまぐるしい変化を見せる気象条件の中でアクティブに動いてもつねに快適さが保たれるためには、汗の処理についてもっと深く追求すべきではないか？これを解決した日本のメーカーがある。日本特有の気候の特徴を捉え、これまでの3レイヤリングを大きく飛躍させたのは、神戸に本拠地を置く「ファイントラック」。彼らが提案する新発想のウエアリングは、5レイヤリング。のシステムだ。ドライレイヤーとミッドシェルという2枚のウエアに加え、ミッドレイヤーを見直すことで濡れへの強さのみならず、装備の大幅な軽量化、着脱回数削減を実現した。これまで肌に直接身に付けていたベースレイヤーの内側に、撥水アンダーを差し込むことで汗を透過させ濡れ戻りを防ぎ、ベースレイヤーに吸水させ、ミッドレイヤーによって液体の汗は気体へと蒸散される。そして優れた透湿性を備えるミッドシエルを通して排出。ミッドシェルは防風耐水性に加えて透湿性もち、アウターシエルは着てられないが脱ぐと寒いという状況で活躍する。蒸れにくく軽く、優れた保温性と温度調節機能を備えるため、ウエアの着脱回数がぐんと減り、幅広い環境シーンで使いまわされる。急速に環境シフトする5レイヤリングというシステムは、自分のウエアリングを考える上でも非常に参考になる。

日本人の、日本人による日本人のための5レイヤリング。

